

# 令和6年度医療的ケア児に関する 調査結果について（概要）

令和7年2月6日  
青森県健康医療福祉部  
障がい福祉課

# 1 令和6年度医療的ケア児に関する実態調査の概要

## 目的

医療的ケア児に関する実態調査を実施し、県及び市町村において今後の医療的ケア児支援に関する施策検討のための基礎資料とするもの

## 調査日

令和6年10月

## 対象

- ・40市町村
- ・特別支援学校 22校

## 調査方法

質問紙

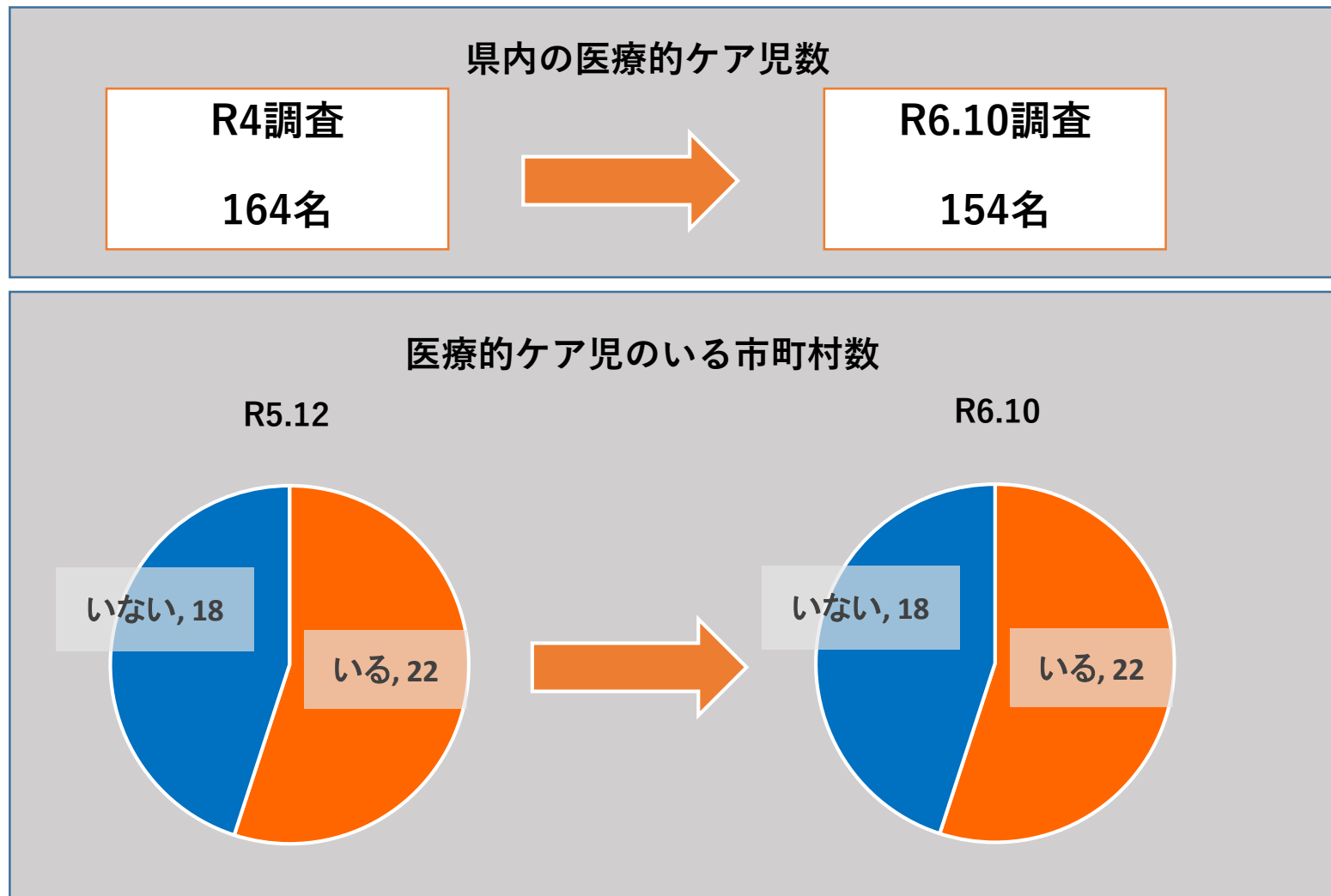
## 回収結果

回収率 100%

## 調査内容

- ・市町村対象  
年齢、性別、居住市町村、医療的ケアの状況、災害時個別避難計画の作成状況等
- ・特別支援学校対象  
年齢、性別、通学区分・交通手段、居住市町村、校内での医療的ケアの状況

# (1) 県内の医療的ケア児の現状

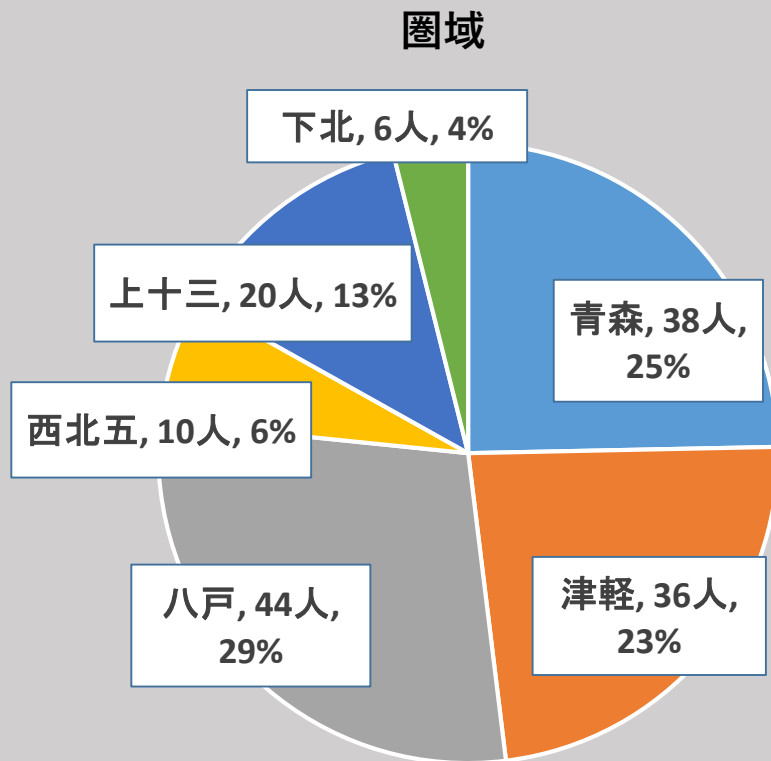


市町村数は同じだが、18歳以上となるなどの医ケア児がいなくなった市町村が4、新たに医ケア児が生まれた市町村が4であり、内訳は異なる。

# (1) 県内の医療的ケア児の現状

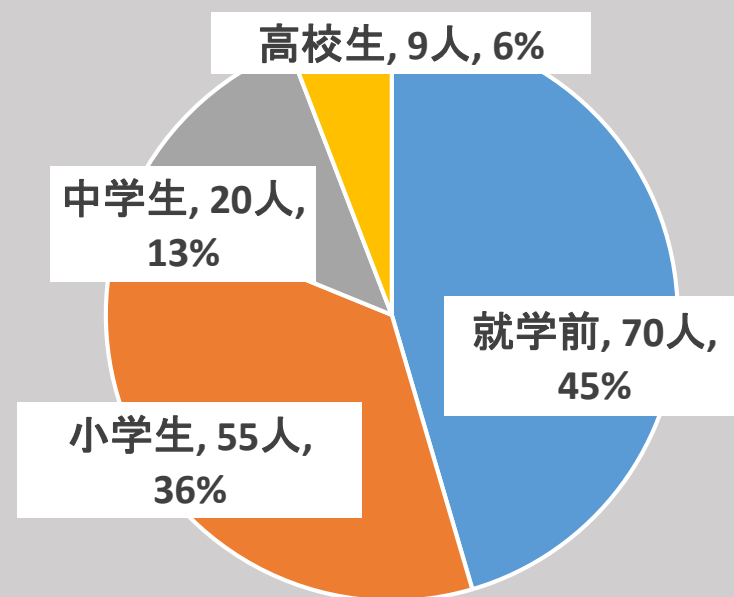
医療的ケア児の分布

圏域



3/4が旧三市の圏域に在住。

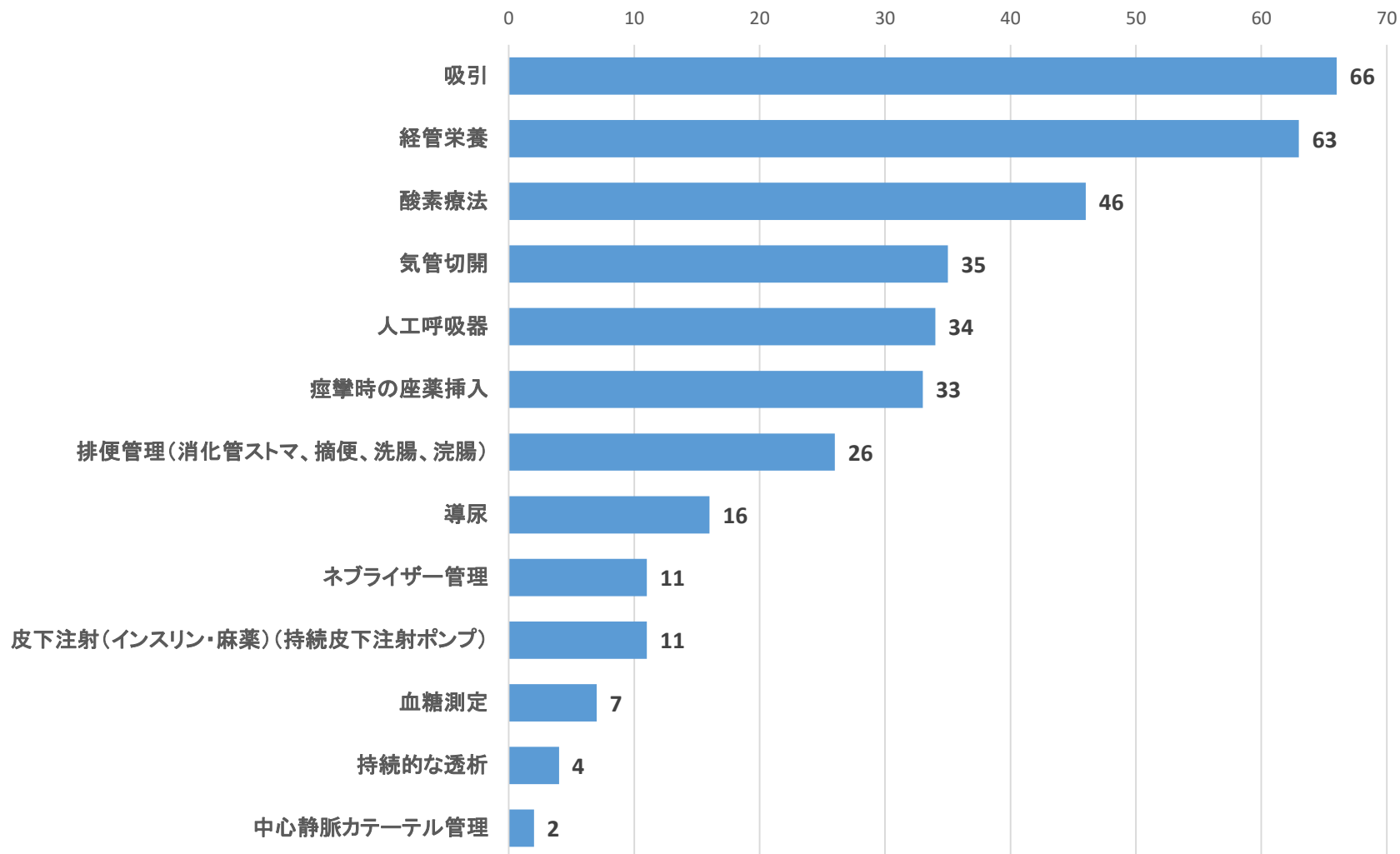
学年



年齢が低いほど多くなっている。

# (1) 県内の医療的ケア児の現状

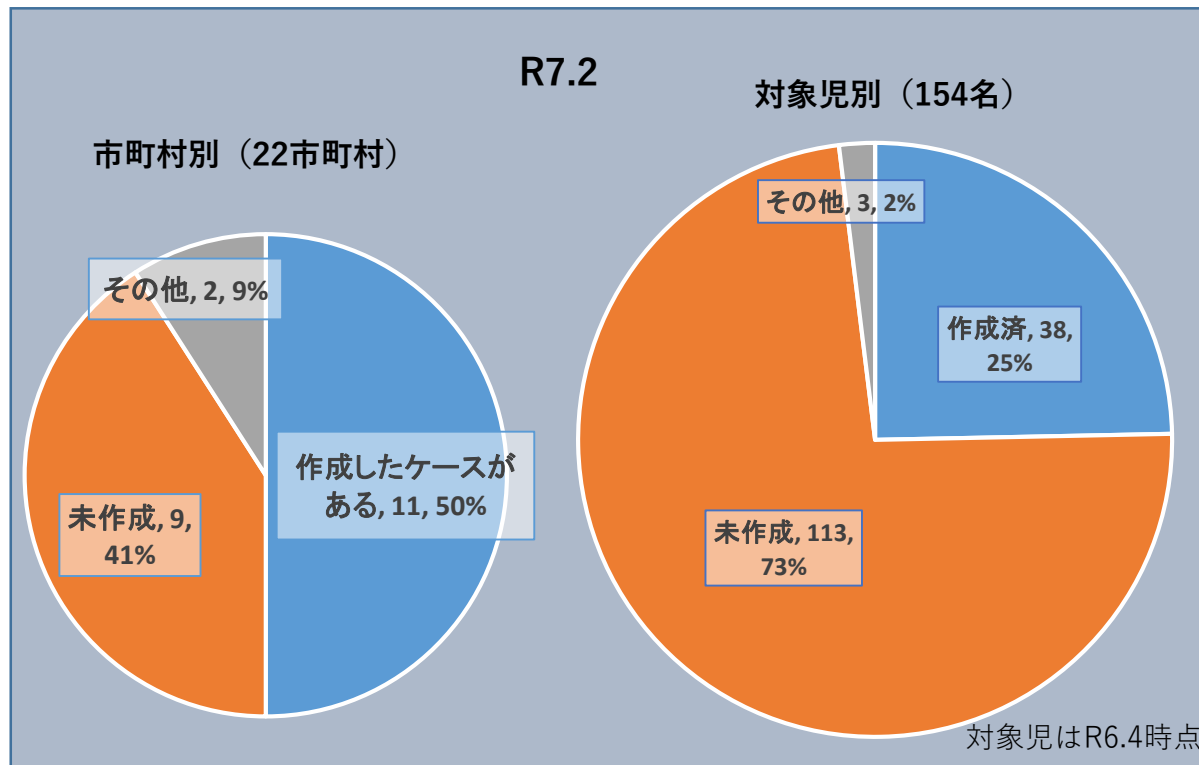
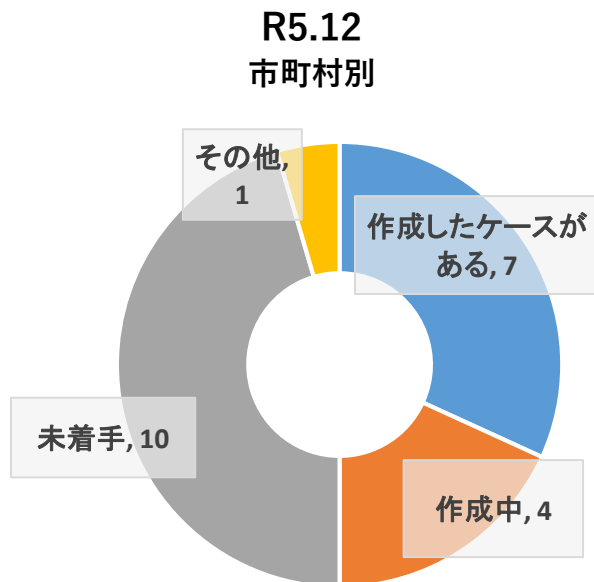
## 必要な医療的ケア (複数回答あり)



## (2) 医療的ケア児の災害時個別避難計画

### 医療的ケア児の災害時個別避難計画の作成について

※医ケア児がいると回答した市町村（22）



※注「未作成」はR5調査時の「作成中」「未着手」を含む。

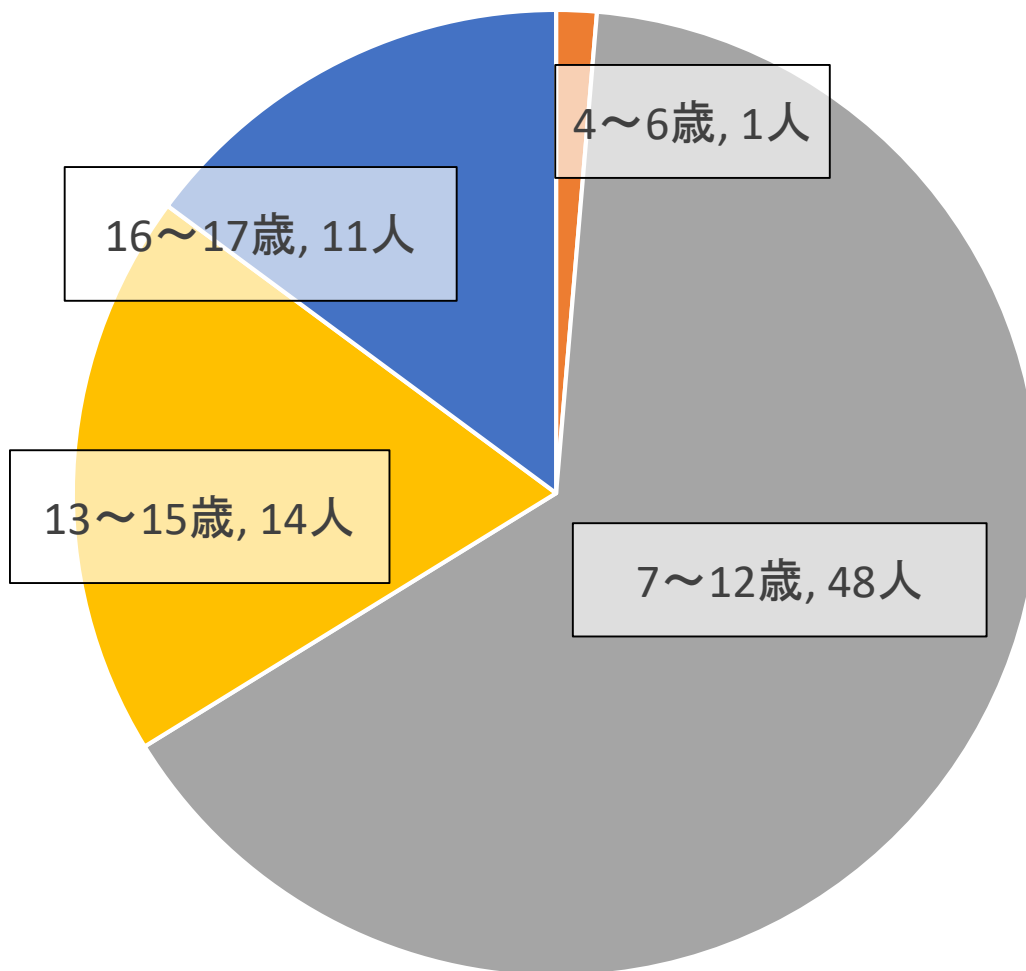
R6.7.9付け青障第556号「医療的ケア児災害時個別支援計画作成マニュアルについて」により、県から市町村に対し「医療的ケア児災害時個別支援計画作成マニュアル」を活用いただき、医療的ケア児の災害時個別避難計画を作成するよう依頼。

→ 個別避難計画が必要な医療的ケア児に対して、計画を作成するようお願いしたい。

特に人工呼吸器を利用している医療的ケア児34名について、早急に計画作成をお願いしたい。  
また、作成済みの対象児について避難訓練の検討をお願いしたい。

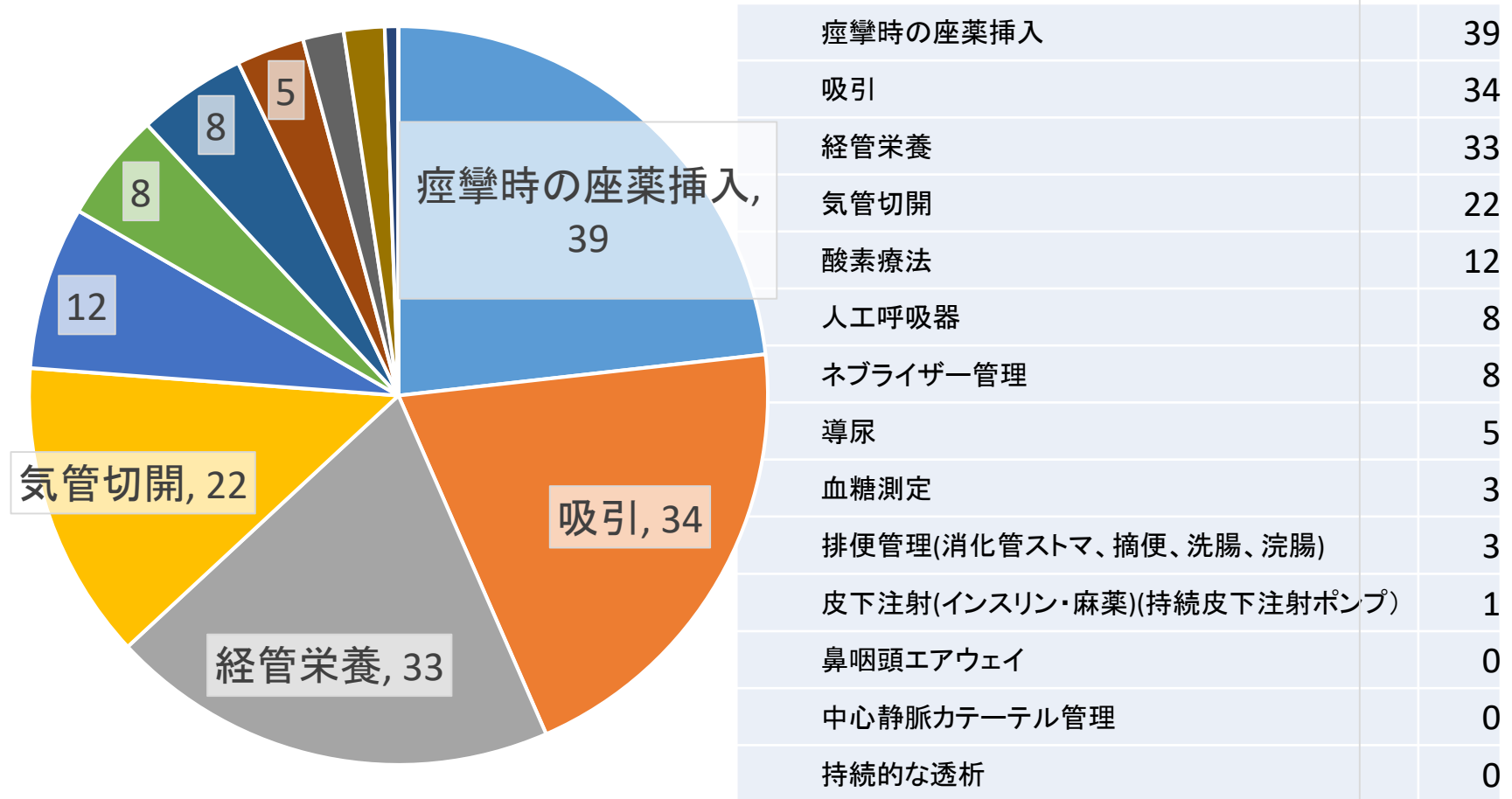
### (3) 県内の特別支援学校における医療的ケア児の現状

特別支援学校に在籍する年齢別児童生徒数



### (3) 県内の特別支援学校における医療的ケア児の現状

学校で行っている医療的ケア（人数、複数回答）

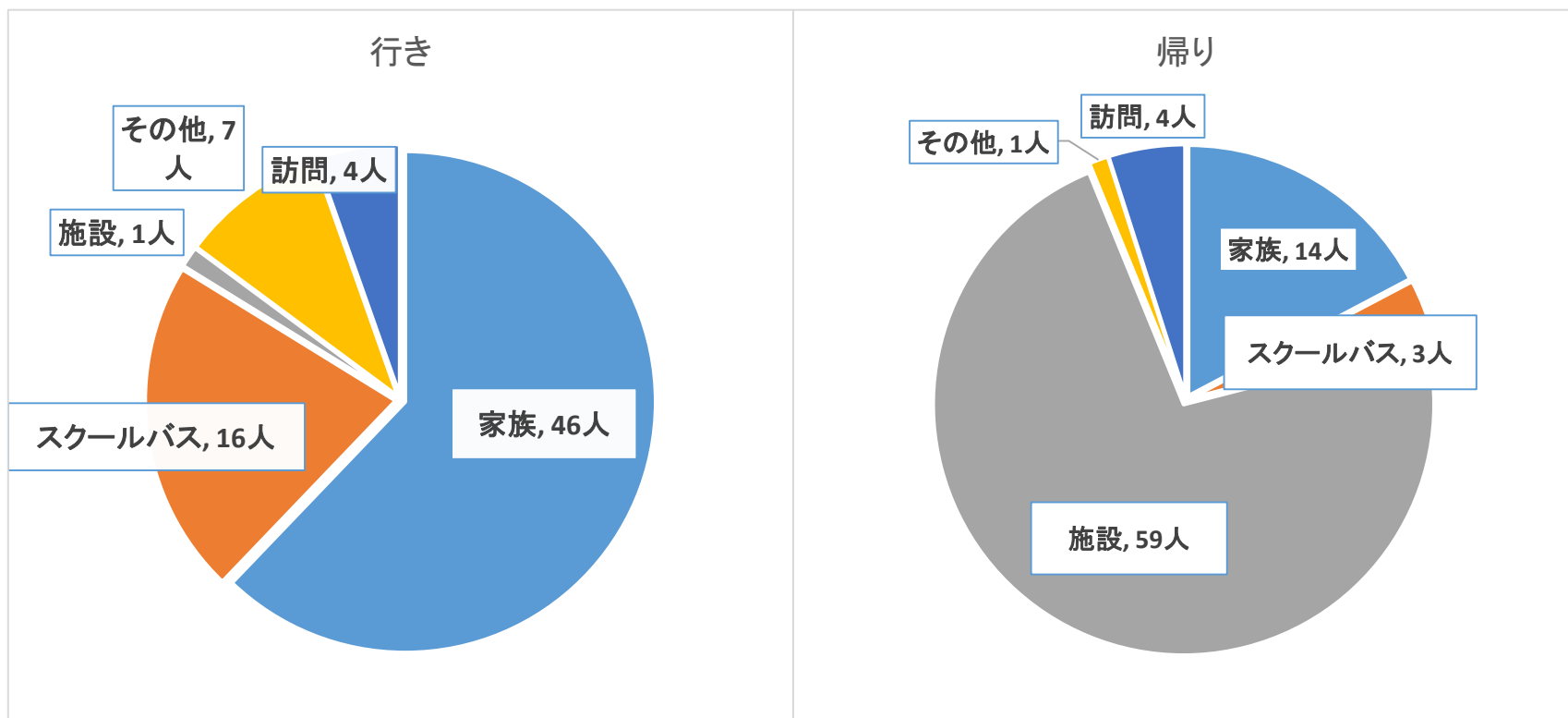


上位4種のケアが4分の3を占める。



### (3) 県内の特別支援学校における医療的ケア児の現状

通学方法の状況



行きは家族による送迎、帰りは放課後デイサービス等による送迎がメイン。

## 2 令和6年度医療的ケア児の支援に関する事業所等受入調査の概要

**目的** 医療的ケア児に関する事業所調査を実施し、県及び市町村において今後の医療的ケア児支援に関する施策検討の基礎資料とする。

**実施者** 小児在宅支援センター（保育所等調査以外）  
県こどもみらい課（保育所等調査に限る）

**調査対象** (1)調査方法等  
訪問・通所等のサービス提供事業所及び障害児相談支援事業所等を対象に、医療的ケア児に対するサービスの提供状況等について調査した。  
(2)主な調査項目  
＜訪問・通所＞  
サービスごと受け入れ可能事業数、受入に係る相談の有無、利用に至らなかった理由、ナースセンターの認知度、喀痰吸引等研修受講状況、受け入れるための課題等  
＜相談＞  
計画相談申込み等の対応状況、対応するために工夫した点、課題等

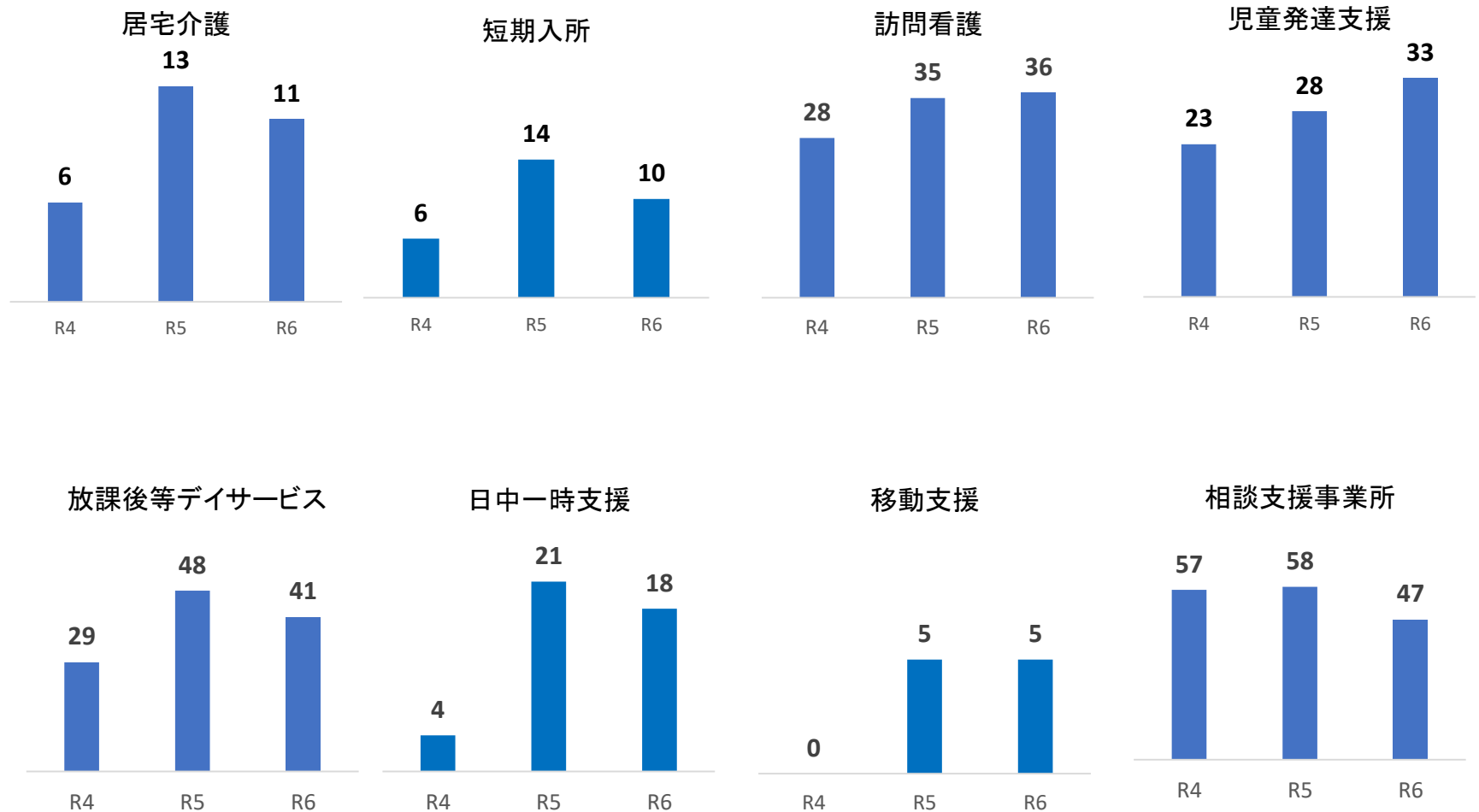
調査対象数  
（回収結果）

調査対象		調査票 配布数	有効 回答数	回収率
事業所	居宅介護	219	88	40.2%
	短期入所	87	51	58.6%
	児童発達支援	117	76	65.0%
	訪問看護	147	90	61.2%
	放課後等デイサービス	208	121	58.2%
	日中一時支援	145	59	40.7%
	移動支援	146	28	19.2%
	障害児相談支援	97	66	68.0%
	保育所等	562	562	100.0%
	計	1,728	1,141	66.0%

**調査時期** 令和6年10月

**調査方法** 郵送による配布、Google FormまたはFAXによる回収

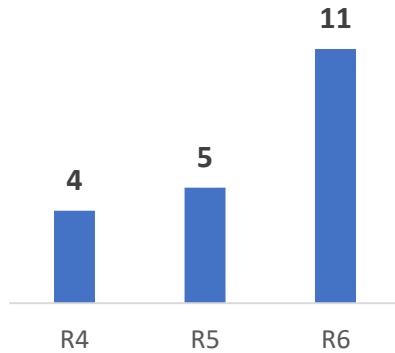
# (1) サービスごとと受入可能事業所数(力所)



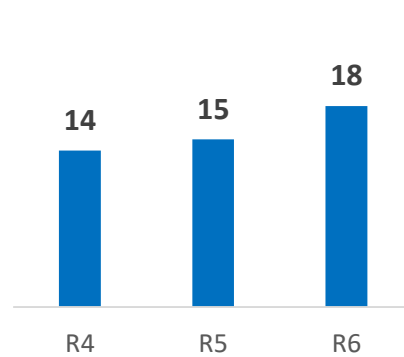
※R5調査より回収率が下がっている。

## (2) サービスごとと受入可能人数(人)

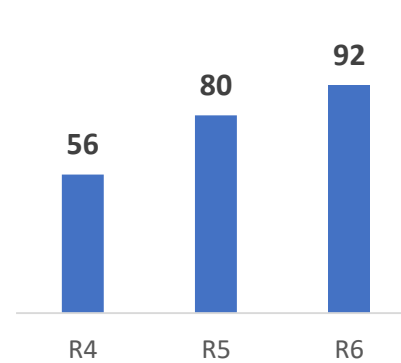
居宅介護



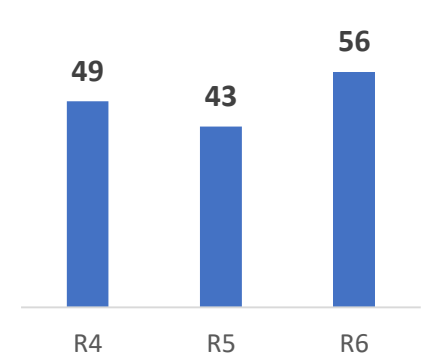
短期入所



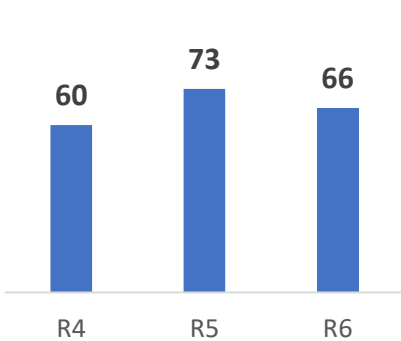
訪問看護



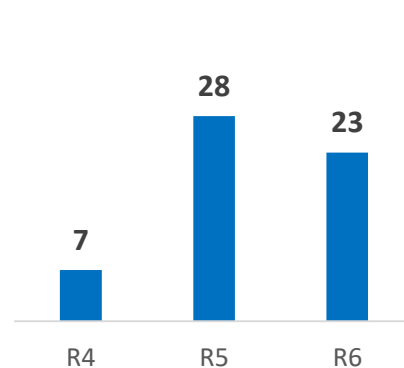
児童発達支援



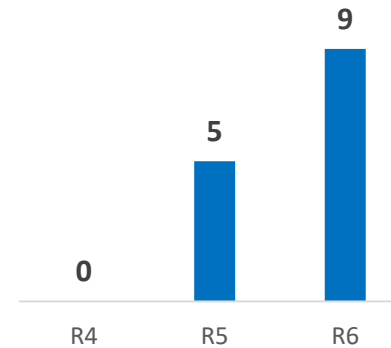
放課後等デイサービス



日中一時支援



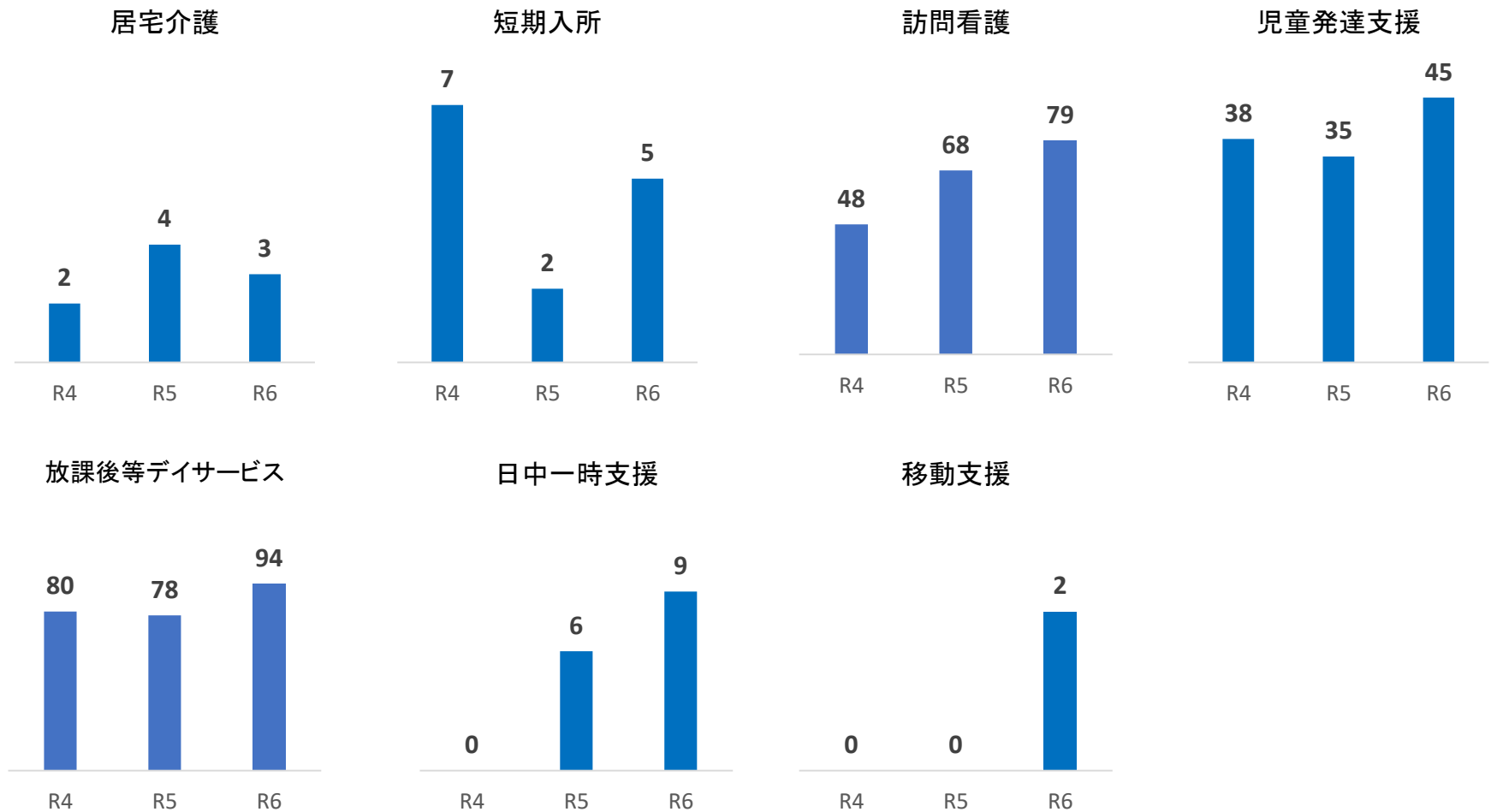
移動支援



※R5調査より回収率が下がっている。

※訪問看護サービスの受入可能人数は年々増加している。

### (3) サービスごとに現に利用している人数(人)



※R5調査より回収率が下がっている。

※訪問看護サービスを利用している人数は年々増加している。